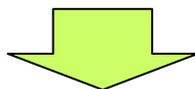


今後の社会教育行政等の推進の在り方及び生涯学習・社会教育の振興の具体的方策について(案)

①社会の変化の中で求められるもの

- ・ 個人の自立(人づくり)に向けた学習
- ・ 絆づくり・地域づくり(社会関係資本の構築)に向けた体制づくり



②社会教育の役割・機能

- ・ 地域社会の形成者を育成する役割→人づくり・絆づくり・地域づくり
- ・ 公民館等の場における相互学習等を通じて、地域住民の自立に向けた意識(自助)を高め、協働による地域づくりの実践(「互助」「共助」)に結びつけていく機能

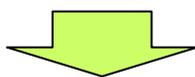
③近年の社会教育の成果

- ・ 学校教育との連携・協働による地域コミュニティの形成
- ・ 家庭教育における学習機会の提供と地域人材の育成



④社会教育行政が抱える課題

- ・ 地域コミュニティの変質への対応(コミュニティ再生への対応が不十分)
- ・ 多様な主体による社会教育事業の展開への対応(様々な課題への対応が不十分)
- ・ 社会教育の専門的職員の減少への対応



⑤今後の社会教育行政の取組の方向性～「社会教育行政の再構築」～

- 関係機関・団体間の連携・協働の推進(ネットワーク型行政の推進 等)
- 地域社会を担う人材の育成(専門的職員の資質向上、地域人材の育成・確保)
- ・ 国の役割(先進的取組の支援・制度改善、専門的職員の資質向上・役割の明確化 等)

⑥生涯学習振興行政の調和・統合機能の強化

- 関係行政機関等との連絡調整、基本構想・基本計画等の策定
- 成果を生かす場や評価制度の構築、学習情報の提供、相談体制の整備
- ・ 国の役割(今後の生涯学習振興の具体的方策等を示し普及、実態把握・調査研究、質保証と評価活用の推進 等)



今後の生涯学習・社会教育の振興の具体的方策

1. 絆づくりと活力あるコミュニティの形成に向けた多様な学習活動の推進
2. 現代的・社会的課題に対応した学習機会及びライフステージに応じた学習機会の充実
3. 社会生活を円滑に営む上で困難を有する者への学習機会の充実
4. 学習の質保証・向上と学習成果の評価・活用の推進
5. 生涯学習・社会教育の推進を支える基盤の整備(行政体制、施設、人材 等)

生涯学習振興行政

教育行政

大学
→大学の地域貢献

民間教育事業者

学校教育

連携

家庭教育支援

※教育基本法改正を受けた
社会教育法等の改正

支援

連携

連携

支援

社会教育

これまでの社会教育行政の括り

連携・働

連携・働

連携・働

新しい社会教育行政の括り

まちづくり
→地方分権、コミュニティ・ソリューション、社会関係資本

高齢者・福祉
→超高齢化、人生100年時代

女性・青少年施策
→男女共同参画社会

NPO